

混和会とは、共に許し合いながら、他の人格を尊重し、共に生きる和の構築を目指す集いです。

ほとけの 混和会だより

令和五年一月

東光院
仏の混和会

第164号



初春の
おぼんがばあちゃんに
お祈り

本年が皆様にとりまして
良き年でありませう
心よりお祈り申し上げます
令和五年一月一日

昨年は、尊いご縁の元に
様々な出会いと、皆様の優し
さ、慈悲の御心を沢山賜り
とても有意義な一年と成り
ました。誠に有り難いことと
存じます。
御陰様で、東光院の目標
とする、人と人、共によりそ
う環境作りにな大きな一歩を
歩む事が出来ました。
皆様の心温まる慈愛心
謹み御礼申し上げます。

今後「三宝に帰依」と言う、
ブツダの御教えの理念から外れ
ないよう、仏心を育んで参りた
いと存じます。
「三宝に帰依」とは人生を歩む
方向性を示す最も尊い宝とす
るものです。
この三宝を漢字で「仏法僧」
と印、インドの言葉で、
仏を「ブツダ」、法を「ダルマ」、
僧を「サンガ」と言います。

要するに「ブツダ」と言う大自
然大宇宙を司る仏様に心身共
に委ねて、「ダルマ」と言う御教
えの元に慈愛心を育み「サンガ」
と言う人々の集うよりどころ、
この三つを深く敬い帰依するこ
とによって、人生を歩む大きな
宝と成りますよ。と言う事
です。
昨年ある人のお葬式の式場に
「貴方との出会いが私の宝です」
と記されておりました。
参拝者は数百人、正に人と人
の出会いを宝として人生を歩ん
で来られたものと思われませう。
私達も、共に慈愛心を育み、
共に宝と成るよう努めて参りた
いと存じます。

令和五年年度の目標

本年度も「よりどころ」の構築
に向けて「共有・共食・共生」
この三つを目標に歩んで参りた
いと存じます。
「共有」とは、ブツダの御心をま
ねて慈愛心を育む事の価値観
を共有し、苦楽そして感動や喜
びを共有しながら、己を忘れて
他の幸を願う心、この仏心を育
み自己の完成を願うものです。
そして「共食」これは昨今、
気候変動や紛争による食材の
高騰が続く、食に対する不安
が危惧されております。
「衣食足りて礼節を知る」と言
う言葉が有りますが、このまま
高騰が続く衣食が足りなくな
ったらどうなるのだろうか、
とても心配です。
そこで日頃から分かち合う
喜びを会得して居たら食に対
する不安は、少しは解消出来
るものと思えます。
は無く
素食で
有りな
がらも
共に
美味し
く食べ
る方法を会得して行きたいと
存じます。
最後に「共生」大変難しい課
題ではあります但し昨年につき
農作業を通じて、自然と私達、
そして人と人、共に生きて、
共に生かされ、共に生きる。
先ずはここから「共有」「共食」
そして「共生」の道を見いだし
たいと存じます。合掌 亮観拝





新年明けましておめでと
うございます。今回は全国
でも例が少ない比叡山に千
年続く神仏習合の儀式の紹
介と宣伝をさせて頂きます。

● 山王礼拝講
さんのうらいはこう

これは仏事でありながら
神前(神社)で行われる法
要儀式で、神仏分離以降
も変わらず毎年行われ続
けた主に比叡山の麓日吉
大社に伝わる儀式です。
始まりは平安時代中期。
比叡山の山の木が一斎に
枯れてしまう事件が起
き、これに驚いた人々は
日吉大社へ行くと山王権
現(比叡山と延暦寺を護
る山の神)が現れる。
「最近の山僧は修行や勉
学を怠け、社頭を徘徊し
たり甲冑を着けて山中を
遊行している。その有様を
見ると伝教大師の意を忘
れ仏法を衰微に導くばか
りだ。だから木を枯らし
た。」と怒った。

驚いた神主は急いで延暦
寺に伝えた所、僧侶達は
神慮を重くとらえ、年齢
関係なく急いで山から驅
け下りると日吉大社の拜
殿にて神主の修祓を受け
祝詞奏上の後、伝教大師

比叡山
延暦寺の
山王礼拝講

since 1966
初代国立劇場
さよなら公演

亮
拝

電話・ネット予約一月一八日から
一等席六千円・二等席五千円
国立劇場チケットセンター
☎〇五七〇一〇七一九九〇〇

が大切にしたい「法華経」の
論議法要を行い、比叡の
山々に礼拝を行ったのが
始まりとされ、以後大師
の意思の継承を示す儀式
として行われてきました。
この度二月二十五日(土)に
国立劇場にて「比叡山延
暦寺の神前法要 日吉大
社の山王礼拝講」として厳
修する事となりました。
国立劇場は、今年秋に五
七年の歴史に一端幕をお
下ろし数年間の歳月をか
け建替が行われます。そ
れに際し昨秋から「初
代国立劇場さよなら公
演」と銘打ち様々な公演
をされてきました。
その一つとして天台宗の
伝法法要も取り上げて頂
き、私も過去に何度か縁
がありまして登壇する事
となりました。今回は何
年後になるか解りませ
んでご興味ありましたら
お越しください。
(詳細は国立劇場のホームページ)

The 35th Anniversary of the Religious Summit
比叡山宗教サミット35周年記念

世界宗教者
平和の祈りの集い
気候変動と宗教者の責務

【ほとけの菜園】と
検索して下さい。サミットの
様子が閲覧出来ます。

昨年、の混和会日より、03号
で紹介した比叡山宗教サミッ
トの様子とメッセージ2022の全
文を天台宗務庁の許可を頂
いて東光院のホームページで閲
覧出来るように成りました。
【ほとけの菜園】と検索して、
ブログのページ一番下の比叡山
メッセージ2022の文字よりお
入り頂くか、左記のバーコー
ドよりお入り下さい。
収束の兆しが見えない紛
争、危機的状況下に追いやら
れる地球環境、このような状
況下に於いて、共生の価値観
はとて有意義な事です。人
々の安らかな暮
らしを願って真
摯な祈りを捧げ
たいと存じます。



岩井植木様、境内の植木
の管理、毎年のご奉仕
心より御礼申し上げます。

様々なご奉仕有たり
難う御座いました



十二月二十五日境内の大掃除
を行いました。
大掃除の
後は皆様
と共に育
てたおそ
ばを頂き
ました。
(共食)

このお蕎麦は、畑の準備から種
まき、収穫、脱穀、製粉、そば打
ちまで皆様と共に苦楽を(共有)
して得たおそばです。
始めて参加頂いた人も、心と心
少しずつふれあう事が出来まし
た。大変有り難いことと存じま
す。(共生) 合掌 亮観拝